

「和歌山市地域子育て支援拠点事業運営業務」事業計画書④

【子育て親子の交流の場の提供と交流の促進（通年）】について

拠点を訪れる親子が居心地よく過ごせる空間になるよう、以下の点についてどのように工夫するのか記載してください。

- ・親子同士の交流が促進されるための工夫
 - ・お誕生日表に名前を載せて、親子の会話のきっかけを作ったり、住んでいる地域や子どもの年齢など、共通の話題が見つかるような自己紹介の場を作ったりと、親子同士が話しやすくなるような機会を提供する。
 - ・同年齢が一度に揃うイベント・講座を紹介するなど、その中で交流が図れるように支援する。
- ・未就園児を連れた保護者が居心地よく過ごせるような空間作り
 - ・保護者同士、会話を楽しんでいる場面では、子どもたちの見守りを行う。
 - ・積極的な保護者間の交流を得意としない保護者には、笑顔を引き出せるような声掛けや話題作りをし、孤立を感じさせないような雰囲気づくりを。
 - ・子どもと離れて静かに時を過ごしたい保護者にはゆっくりしてもらえるように、子どもが夢中になれるような遊びを提供する。
- ・交流の場に来た子供が楽しく過ごせる空間作り
 - 異年齢児みんなが楽しめるように年齢に応じたおもちゃ、遊具、スペースを提供する。
 - 視覚的にも楽しんでもらえるよう、季節ごとの壁面制作はもちろん、子どもたちが興味のあるキャラクターを把握し、飾りつけを随時追加している。

【子育て等に関する相談、援助の実施（通年）】について

子育てだけに限らず様々な悩みを抱える保護者に対して誠意ある対応ができるよう、以下の点についてどのように工夫するのか記載してください。

- ・安心して相談できるような環境づくり
 - ・明るい雰囲気づくりを大切に。明るい挨拶や電話対応を心掛ける。
 - ・親子に関心を持ち、時には子育て以外のことも話す。
 - ・相談者の親が話しやすいように、親と話をするスタッフと子どもと遊ぶスタッフに分かれる。
 - ・他人に聞かれたくない内容については、別室での相談や、電話での相談受付も引き続き行っている。
- ・相談対応時の心構えや相談を受けるための姿勢
 - 相談者の悩みに寄り添い、傾聴し、気持ちを認めて受け入れる事を第一とし、否定せず、話を最後まで聞く。
 - その後相談者がどうしたいのか、まずは一緒の方向を見る事が大事だと考える。
- ・必要とされる援助等に円滑に結びつけるための体制整備
 - ・市町村の広報誌などを利用し実施している子育て相談を紹介する。
 - ・必要に応じて保健師や栄養士、歯科衛生士、助産師などの専門職の方に紹介する事を事前に承諾をとっている。
 - ・スタッフ内で相談事を共有し、問題について話し合う。保護者に対する話の方向性をすり合わせておく。

【地域の子育て関連情報の収集・提供（通年）】について

保護者にとって有用な情報や保護者が求めている情報を、できる限り迅速かつスムーズに提供できるよう、以下の点についてどのように工夫するのか記載してください。

- ・保護者のニーズ把握も含めた情報収集方法
 - ・親子が日常的に通っている場所や子育てに関連する行動を観察し、具体的なニーズを把握する。
 - ・本人から直接聞き取り、具体的なニーズや不安、要望を把握する。
 - ・地域のイベントや近くで行われている集まりなど、子育て世代が関係のあるイベントの話題を共有する。
 - ・年齢、月齢に合わせたニュースなどを把握する。
- ・保護者のニーズ・利便性に添った情報提供方法
 - ・子育てアプリの紹介
 - ・市町村の広報誌などを利用する。
 - ・LINE を使い、各拠点施設の情報を提供する。
 - ・支援センターの雰囲気を知ってもらい、身近に感じてもらえるよう、イベントの写真を綴ったアルバムなどを製作し、健診など周知に行った際には手に取り見ていただけるようにする。

【子育て及び子育て支援に関する講習等の実施（月1回以上）】について

未就園児を連れて参加する講座としてふさわしく、かつ子育てのヒントになるような講座が実施できるよう、以下の点についてどのように工夫するのか記載してください。

- ・参加のための工夫（内容、時間設定、参加方法等）
 - ・年齢に合った遊びで、親子で楽しめる内容にする。
 - ・時には親がリラックスやリフレッシュできる講座を提供する。（ヨガ）
 - ・季節感や流行を考慮して、テーマを設定。
 - ・環境設備やスタッフの配慮など、安全性を確保する。
 - ・参加者の集中力や子どもたちの体力を考慮して、適切な長さを設定する。
 - ・家事や子どもの生活リズムを壊すことがないように考慮し、午前中に行う。
 - ・講座の日程をチラシの配布や市のLINE で知らせる。
- ・講座内容の設定に関する考え方
 - ・子どもの年齢と興味に合わせる。（読み聞かせ）
 - ・親子で楽しめる要素を盛り込む。親子で一緒に楽しめるアクティビティ（講座前のうたや踊り）
 - ・子育てに関する専門家の講演や相談会を開催する。
 - ・参加者が知識を得たり、悩みを相談できる場を提供する。

【その他の子育て支援活動の実施】について

地域の実情、利用者のニーズ等に応じて、提案する拠点施設を生かした活動、拠点施設内にとどまらない近隣エリアにおける子育て支援活動等、どのような取組を行うのか記載してください。

・取組内容について

(例：●設置場所を生かした活動、●公民館、公園等に出向いた親子交流、●子育てサークルとの協働や連携、●高齢者、学生、地域団体との連携等)

設置場所を生かした活動として

- ・室内での遊び、歌を歌い保護者と行進、ダンスなどをして親子のスキンシップを図る。
- ・季節にあった製作。
- ・広い園庭での遊び、大型遊具での遊び。
- ・保護者同士、職員と、子育てに関する意見交換をする。

有功自治会館やコミュニティーセンター

- ・様々な手づくりおもちゃやトンネル、マットなどを持って行って室内遊び。
- ・広い室内を生かしてのプチ運動会やクリスマス会などのイベントを行う。
- ・保護者同士、職員との子育てに関する意見交換をする。

近隣公園（3か所）へ出向いての親子交流

- ・ラジカセを持って行って、踊ったり歌ったり楽しく過ごす。
- ・保護者同士、職員との子育てに関する意見を交換する

・取組を実施することによる効果等について

- ・対象地域に住む親子の参加の増加している。
- ・子育て保護者同士のつながりが多くなる。
- ・子育て保護者の子育てに関する安心感が増し、自信がつく。